

2023年5月2日
イオン株式会社

脱炭素ビジョンの早期達成に向けて ソーラーカーポートによる創エネルギーを推進

イオンは、「イオンモール」「イオンタウン」などの大型商業施設が有する駐車場に、屋根部分に太陽光パネルを設置した発電装置であるソーラーカーポートの設置を拡大し、創エネルギーを推進します。

4月に開店したイオンモール豊川には、商業施設のソーラーカーポートでは最大級となる1300kWの発電容量を持つ大規模なカーポートを設置し、一般家庭の約350世帯分に相当するクリーンな電力を施設内で利用することで、再生可能エネルギーの活用拡大を進めます。

以前は、平面駐車場にソーラーカーポートを設置する場合、太陽光パネルの下に自動車車庫の用途が発生することは、建築基準法の対象になっておりましたが、2022年9月1日に、一定の条件を満たすことで、建蔽率・容積率計算の対象外とすることに改正されたことで、イオンが有する駐車場を利用した創エネが進めやすくなりました。

また、PPAモデルを活用した発電装置の設置のため、意思決定スピードが上がることも、早期の推進につながります。

イオンは、「イオンモール」全店を含めたイオンの施設への設置拡大を進めることで、2018年に策定した「イオン 脱炭素ビジョン」にある店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを、2040年までの当初計画より前倒した達成を目指してまいります。



イオンモール豊川に設置したソーラーカーポート

以上